

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 森づくり課
 担当名: 間伐・森林循環担当
 内線: 4321

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B35	水源地域の森づくり事業		一般会計	農林水産業費	林業費	造林対策費	水源地域の森づくり事業費	
事業期間	平成20年度～	根拠法令	彩の国みどりの基金条例		針路分野施策	10 豊かな自然と共生する社会の実現 1001 みどりの保全と創出	SDGsゴール	SDGsターゲット
1 事業の概要 手入れの遅れやシカの被害等により荒廃し、緊急に整備が必要となっている水源地域の森林や不成熟造林地を対象として、針広混交林の造成や広葉樹の森を再生し、水源かん養、土砂流出防備などの公益的機能の高度発揮やスギ花粉の削減、景観の向上等を図る。			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 森林現況調査業務 1地域 5,000千円 森林整備を実施するために必要な森林現況調査・測量 イ 針広混交林造成事業 680ha 299,170千円 人工林を強度に間伐し、針葉樹と広葉樹が混じりあった針広混交林の造成 ウ 荒廃森林再生事業 58ha 67,025千円 シカの被害等を受け、再生が困難な林地におけるの広葉樹植栽等 エ 環境林整備モデル事業 4ha 2,000千円 不成熟造林地の調査、必要な施業の検討及び計画策定、施業の実施、施設の点検修繕 オ 事務費 1式 2,550千円 (2) 事業計画 令和3年度から令和7年度の5年間で、3,300haの水源地域の森林を整備 (3) 事業効果 水源地域の森林を再生させることにより、水源かん養機能の向上や、土砂流出・崩壊を防止するなど、森林の公益的機能の高度発揮が図られる。 (整備実績) 平成22年度 552ha、平成23年度 525ha、平成24年度 727ha、平成25年度 683ha、 平成26年度 956ha、平成27年度 1,139ha、平成28年度 1,115ha、平成29年度 1,082ha、 平成30年度 899ha、令和元年度 981ha、令和2年度 743ha (4) 補正予算の概要 ア 針広混交林造成事業: 土砂崩落による県道中津川三峰口停車場線の全面通行止により事業を取り止めたことなどによる減額、森林譲与税を活用した市町村による森林整備との役割分担に伴う減額 イ 荒廃森林再生事業: 柵の点検修繕箇所が見込みを下回ったことによる減額 ウ 事務費: 事務費の節減による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) (県定額) 事業者 定額 (県10/10), (県定額) 事業者 定額 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.5人=42,750千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
決定額	△148,274	繰入金	△148,274				0	227,471
現計額	375,745		373,745				2,000	

事業内訳書

事業名	水源地域の森づくり事業		
単位事業名	針広混交林造成事業	予算額	△ 142,049千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△142,049	—	土砂崩落により事業を取りやめたこと等による減額
合計	△142,049	—	

単位事業名	荒廃森林再生事業	予算額	△ 5,920千円
-------	----------	-----	-----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△5,920	—	事業量が見込みを下回ったことによる減額
合計	△5,920	—	

単位事業名	事務費（県単）	予算額	△ 305千円
-------	---------	-----	---------

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△69	—	執行留保等による旅費の減
需用費	△233	—	執行留保等による需用費の減
役務費	△3	—	執行留保等による役務費の減
合計	△305	—	